

出前講座 報告書

開催日時	令和2年1月20日(月) 14時～15時30分		
開催場所	上野ふれあいプラザ3F ミーティングルーム		
申請団体等名称	伊賀市母子寡婦福祉会		
テーマ	ひとり親家庭・寡婦家庭の現状及び意見交換		
委員会名等	教育民生常任委員会		
出席議員	北出忠良(委員長)・福村教親(副委員長)・北森 徹・桃井弘子・山下典子		
	田中 覚・近森正利・百上真奈	記録者	福村 教親

【講座・意見交換等の主な内容】

①買い物支援について

【伊賀市母子寡婦福祉会より】

- ・スーパーヤオヒコの撤退により、市街地の住民(特に高齢者)の生活必需品の買い物が不便となったが、地域運行バスや買い物支援の対策はあるのか。

【委員会より】

- ・お買い物バスは検討されていない。市内循環バス(しらさぎ号)を利用できないか。
- ・デマンド方式等については、地元自治会単位での協力が必要である。

②子どもの貧困について

【伊賀市母子寡婦福祉会より】

- ・学童保育の費用が高額で通えず、子どもの居場所がない。

【委員会より】

・学童保育は所得等に応じた費用負担となっている。貧困等により食事に困っている児童に対しては、自治会によっては民生委員が中心となり子ども食堂(地域食堂)や小規模なコミュニティスクール(サロン)の立ち上げ準備をしている。地域住民の声が各自治協議会に届けられているのか。また、子どもの突然の発熱時等に預かってくれる施設を探すだけでなく、保護者が職場からすぐに帰ることができる職場環境の整備も大切である。

③年金で入所できる老人介護施設の整備等について

【伊賀市母子寡婦福祉会より】

- ・親の介護費用に負担がかかる

【委員会より】

(様式第2号)

・特別養護老人ホームは所得等に応じた費用負担となっている。また、老健施設等もある。伊賀市のHP等で案内されている。

【伊賀市母子寡婦福祉会より】

・市営住宅の老朽化で、生活に支障が出ているが行政側の対応は。

【委員会より】

・行政側の計画はあるので、具体的な場所を聞かせていただき対応する。

【伊賀市母子寡婦福祉会より】

・ひとり親家庭の就職について。

【委員会より】

・看護師・保育士等には就労支援がある。その他、ハローワークにおいても支援があるので後日お知らせする。

【伊賀市母子寡婦福祉会より】

・資源ごみの回収方法(蛍光管等)が以前と異なっているが周知されていないのではないか。

【委員会より】

・スマホアプリでは案内をしている。今後、ガイドブックが改定される時には反映するよう行政に伝えておく。

【まとめ】

基本的に地元に対して話をし、並行して行政に要望等を行っていただくよう進言した。

伊賀市議会議長 様

令和2年1月21日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

教育民生常任委員長 北出 忠良